

4-2 はしご昇降時に3点タッチの体感

| 項目 | ポイント |
|----------------|---|
| 体感の目的 | 1) はしご昇降時の3点タッチの確認 |
| 要員 | 計2名(講師、講師補佐) |
| 標準時間 | 15分 |
| 準備機材 | 特になし |
| 会場準備 | ・ 垂直はしご |
| 安全に体感するためのポイント | ・ 固定垂直はしごの使用 |
| 体感前説明 | ・ はしご昇降時の3点タッチ |
| 実体感手順 | ① 受講者に一人ずつ3点タッチではしごを昇降してもらう。 |
| 体感後説明 | ・ 昇降タラップを昇降する時に、物を持って昇降したために発生した墜落・転落災害が多いことを説明。 |
| 強調点 | ・ 昇降タラップを昇降する際は、3点タッチができるよう物を持って昇降しない。 (物の上げ下ろし用のロープを設置し、必ず使用する) |

【体感教育の状況】



はしごの昇降時には、必ず手・足を使った“3点タッチ”で昇降し、3点タッチの重要性を体感させること。



特に若年層には、荷揚げ用ロープの結び方を教えること。



物を持ったままはしごを昇降せずに、荷揚げ用ロープを使用させること。